

## 長引く嵐のような感染拡大を止めるために

新型コロナウイルス感染症はこの2年間で6回の波がありました。現在進行中の第6波はなかなか収まりを見せません。5回目まではまるで台風のようにやってきて、去ったあとしばらくは穏やかな風の日がありました。しかし、この第6波は長く続いており、このままでは何とか持ち堪えていた屋根や柱までもさらっていかれそうな勢いです。

オミクロン株は感染される方が若い年代に多い傾向にあり、ほとんどが風邪のような症状で済むといった情報が一時流れました。そのためデルタ株の時よりも軽く済むと考えている方もおられると思います。しかし、最近では市内でも高齢者施設でのクラスターが発生するなど、若者から働き盛りの方、高齢者へ感染が拡大しており、重症化したり、残念ながらお亡くなりになったりした方もおられます。また、感染後どのような後遺症が発症するのか未だわかっていないのが現実です。

**市民の皆さまに改めてお願いします。**

**気を緩めてはいけません！誰もが感染する可能性があります！**

これまで以上に基本的な感染対策を徹底し、不織布マスクの着用、手指の消毒、密の回避、こまめな換気などにご協力をお願いします。

**親しき中にもマスクありです。**

また、社会経済機能へ目を向けると、オミクロン株は感染力が非常に強いため、一人が感染すると周りの方も感染したり濃厚接触者となったりして出勤が困難になり、会社等の事業継続が危うくなる場合も想定されます。そのため各事業所には事業継続計画（BCP）の策定をお願いし、業務が停止しないようお願いしているところです。高山市役所でも職員が複数名感染し、業務の中止や延期などご迷惑をおかけしてしまいました。大変申し訳ございませんでした。

この1月から私たちは第6波という大きな嵐の中、暴風雨にさらされ続けています。その暴風雨をしのぐため、感染予防をし、県境を越えるような外出を控え、経済対策を行いながら嵐がおさまるのを耐えて待っています。

たとえ嵐の中であっても、家屋の修繕や生活の維持は継続しなければなりません。「罹っても仕方ない」という諦めの意識は禁物です。皆さまお一人おひとりが自己防衛と第6波の抑え込みに意識を高め、基本的な感染防止対策の徹底と、事業継続計画の策定への取り組みにご協力をお願いします。

**市においても出来る限りの対策を実施します。**

市民の皆さまも相談や、ご提案等ございましたらお近くの職員又は、新型コロナウイルス総合窓口（市役所内 電話36-0024）まで気軽にお知らせください。